

沖縄女子短期大学

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		沖縄女子短期大学		設置者名		学校法人 嘉数女子学園	
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成17年度)		
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数	教員就職者数
一	児童教育科 (第一部)	50人	小二種免 幼二種免	平成元年度	201人	190人 53人 184人	18人
	児童教育科 (第二部)	50人		平成元年度			
			幼二種免	平成元年度	44人	39人 39人	4人
入学定員合計		100人	合計		245人	229人	22人
備考	・「免許状取得者数」欄の、左側には各学科の実人数を、右側には学科内の教員免許課程ごとの人数を記載している。						

右欄の指摘等にかかる現在の状況		委員による指摘又は指導・助言等
全般的事項	<ul style="list-style-type: none"> ・建学の精神のもと、積極的に社会に貢献し、かつ、善き家庭人となるような品格のある女性の教育を心がけている。あわせて、時代の変化や社会に対応する教員養成を実施している。 ・児童教育科(第一部)(入学定員50人)における平成17年度卒業生数が201人である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全学的に、教員養成に取り組んでいる。 ・入学定員の変更を検討するとともに、それに見合う専任教員数の増加、施設・設備の充実を早急に図ること。
教員養成に対する理念等	<ul style="list-style-type: none"> ・建学の精神のもと、学内に、「学科会議」「教務委員会」「講義要綱編集委員会」などを設置して、教職課程を運営している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学が、自大学でしかできない教員養成の姿を、大学内の教職課程委員会などを通じて、全学的に議論を重ねてほしい。その議論が、教育課程・教員組織などに反映されたものになるように、絶えず続けてほしい。
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> ・「教職に関する科目」の教員9人のうち、初等中等教育教員経験者は5人である。 ・授業科目「総合演習」が、設置趣旨に合致しておらず、教育・保育に関する課題から一つ以上のテーマに焦点をあて、分析・検討を行うことになっている。 ・複数の授業科目の講義概要(シラバス)において、学生に対する評価の観点の1つに、「授業への出席」があげられている。 ・教職に関する科目「生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目」において、「ファミリーカウンセリング」という名称の授業科目がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ学校教育現場に視座をおいた授業になるように、現場経験の豊富な人で研究者としての資質能力を有する者を大学の教員に登用してほしい。 ・授業と図書館の利用をどのように連動させるかを、今後、考えてほしい。例えば、授業に出席するためには、ある程度読本を読まなくては臨めないという形の授業構成をしてほしい。 ・総合演習は、本来の科目の設置趣旨に基けば、幅広いテーマを設定すること、授業形態としても、オムニバス形式、演習・模擬授業などの実施が求められる。 ・授業へ出席することは当たり前であり、評価の観点としてあげることには問題がある。 ・授業科目名称が適当ではない。

個別的事項	教育実習	<ul style="list-style-type: none"> ・実習中に、中間指導を実施し、教員による訪問指導を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当教員が、実習生を受け入れている実習校に出向き、指導していることは評価できる。県外の学校への実習生に対しても実習校と連携を取りながら取り組んでほしい。 ・母校(園)実習について、それ相当の指導体制の確立を今後とも進めてほしい。 ・中間指導として、実習期間中に実習生を集めて、担当教員が指導をするなどは、貴大学の特色である。
	教職指導、介護等体験等	<ul style="list-style-type: none"> ・特記事項なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・特記事項なし
	免許状取得状況及び教員就職状況	<ul style="list-style-type: none"> ・就職指導の一環として、正規の授業と連携しながら、教職特別講座(例:初等教育基礎演習(内容:理数教育、介護等体験、教育法規など))を開設している。 ・教員採用試験対策を積極的に進めている。 ・新規教員採用が困難な沖縄県であるが、毎年度20人以上の教員就職者を送り出している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就職指導の一環として、入試に数学を入れたり、入学後に理数系の教育を重視していることが高く評価できる。 ・現在、教員の資質能力として、地球的視野に立って行動し、変化する社会に対応できることなどが求められており、それを基盤とした就職指導が望まれる。 ・教員採用試験の受験予備校化しない配慮が望まれる。
	施設・設備の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・教員養成に関する図書は、24,592冊(平成18年4月1日現在)。 ・本学卒業生のうちの現職教員(約300人)が、教材・教材専門書、幼児関連の図書、絵本等を中心に利用している。 ・教育実習校は、出身幼稚園や出身小学校を原則としている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的な内容の図書がそろっている。なお、教育理論を学生に身に付けさせるために、教育理論を内容とした図書を含めた集書計画を行ってほしい。 ・現職教員も図書館を利用できるようにすることは、地域貢献につながる。 ・併設されている附属幼稚園を活かして、教育実習だけでなく、学習ボランティアや教育援助活動などに活発に取り組んでほしい。